いわき民報

發行所 いわき民報社
平市田町一番地(電話三八一番)
編輯兼發行人 印刷人 千輝克己
日刊 但日曜祭日休刊
定價 一ヶ月 一円 一部十五錢

常磐産業株式會社
常磐興業株式會社
社長 高山弘
平市搔拙小路
電 三七二 五三四番

財産税調査委員決定さる
正しい徴收と調査の適正に 特殊財産のため専門委員も

平税務署では財産税の正しい徴收を圖ると共にこれが調査を適正に進めるため今度平市並に石城郡内各町村に財産税等調査囑託員を任命、各方面の意見を聽くと共に署員が各市町村の事情調査の參考に供することになつた、なほこの外特殊財産に對する専門委員も任命した

▽平 根本善吉、松本信由、山崎忠兵衛、矢吹初彌、柴田徳二 小松茂 ▽飯野 伊藤淺之助 ▽鹿島 山口巖 ▽江名 坂本長太郎 遠藤勝馬 ▽豐間 遠藤専 ▽高久 鈴木正一 ▽夏井 久保木政直 ▽神谷 志賀忠五郎 ▽草野 高木誠一 ▽大浦 小林豊廣 ▽四倉 菅波林太郎 古市壽平 ▽大野 小野善太郎 ▽赤井 鈴木隆衛、佐藤力彌、長谷川初五郎 ▽小川 草野淺右エ門、松本喜八 ▽川前 佐藤治助 ▽三坂澤渡 草野幹雄 馬目半重郎 ▽永戸箕輪 松崎守、渡邊左黨 ▽好間 大谷喜重 ▽内郷 四家又一、松本大 ▽湯本 大平喜代次、比佐源造 ▽磐崎 清水角治、高槻繁男 ◇上遠野 常盤喜作 ◇入遠野 矢代久太郎 ◇田人 小野猪太郎、蛭田喜久男 ◇川部 田子秀作、鈴木明 ◇勿來 金成大五郎、横山太一、國井興一 ◇錦 下山田大膳、金成欽次、金成源右エ門 ◇山田 安島重三郎、秋山兵部 ◇植田 渡邊重三郎、赤津平男、佐川正雄 ◇渡邊 根本竹男 ◇泉 三戸源太郎、上遠野浩 ◇小名濱 長瀬國三郎、佐伯三郎、松本懃、小泉忠文

青物の出荷促進には
市役所と平署について聽く

出澁つてゐる平市の野菜は農繁期を迎へて益々出廻り不振の見込みであるが、一方公定を無視した野菜行商がめつきり多くなつて統制機構など無いも同然この儘何等の手も打たないと野菜事情は窮屈になるばかりである、今後の野菜出荷促進策について平市役所並に平署に〝その手〟を聽いて見る——

野菜ばかり安くは無理
山岸配給課長談

平市役所山岸配給課長談『農林省の發表した新公定では廉賣制當時の約半分以下であるから當低出てこないのも當然、この野菜不足の儘放任も出來ないし市場より幾分でも安い野菜が入手出來れば幸ひと植田方部から八百貫の入荷を得、かぶ五圓四十錢(公定五圓)玉菜八圓四十錢(公定六圓)大根六圓六十錢(公定四圓五十錢)で配給しましたこれでも一般市場より安いし公定を無視したやり方だと非難されても喰べられないより良いと思ふ、市内の辻賣も結構だが公定から見れば生産者直接販賣の場合五分安に取扱はないと違法になる、他の物資が高いのに野菜ばかり安く賣れと云つても無理だ——』

辻賣りも結構
平署防犯主任談

平署菅野防犯主任談『値段の違反さへなければ辻賣も結構だ、取締は勿論必要だが庶二無二取締一点張りで行つてもうまく行かないものだ、野菜についても公定違反でない限り努めて出荷促進を援けたい、未だ新しい公定に對する縣の野菜對策が出來てゐないので何んとも言へないが或る程度の寛大な措置も已むを得ないと思つてゐる』

大道異變
平 中 靑二

▼引揚者に住宅を與へることは急務中の急務だ。戰災者にも何とかしてやらねばならぬ。轉任して來た官公吏だつて同じく、家なき者の苦しみや悩みは深からう ▼かうなると牛や馬や猫になつた方が幸福でもあり、始末が良い。もつとも、下手をすると盗まれて、殺されて食はれてしまふ、馬や牛になるかも知れぬが——。▼住宅難解決の方策は色々あらう。新築も考へられる。市内居住の不必要者を田舎に疎開させることも一案。と言ふのはある所には空家同然の堂々たる家があることをこの眼で見て來た。▼更に必要なのは小人數で大邸宅を占有してゐる人の家を解放することだ。便所や簡易な竈所をつける住宅なら、新築よりも可能性、實現性は大きく、より安價で借りられる又貸される。▼問題、は人間らしい同情心を出すか出さぬかにある。『同情心など持ち合せぬ』といふなら話にならぬ。そんなものは山奥に入つて熊と一緒に暮したら良い。それでもいやだと言ふならブタ箱は至極適當だらう。▼それとは反對に平市内にも偉い人がゐる。歴史上に特筆大書すべき人が住む。即ち、どの部屋にも、どの室にも全くの赤の他人を、幾人も幾家族も入れて、自分の家族同様に面倒を見てくれてゐる人がある。▼市役所の人々よ、調査して手本にしたらどうです、こんな人を表彰せずして誰を表彰します?

礦夫組合で辯論大會
靑年部の結成を兼ね淺野會館で

常磐地方礦夫組合では豫ねて靑年部の新設を急いでゐたが加藤木啓吉君等の努力によりこの程全く整つたので、九日午後一時から綴驛前淺野記念館で結成大會並に辯論大會を開催するに決した、尙仝部は今後恵まれぬ文化方面にも活溌な活動を開始することになつて居り期待されてゐる

塵芥燒却場 增築か
市の豫防委員會

平市傳染病豫防委員會は午前十時から市長室に開催塵芥運搬の運賃値上げ、北目町にある塵芥燒却場の增築問題並に傳染病院専屬看護婦の俸給增額等を協議する

登校時を期し交通整理を
磐中生が自發的に

祖國再建は秩序の維持からと縣立磐城中學五年生中の方部委員長十二名が學校當局の認可を受けて、方部委員三十名が交替で毎朝登校時の交通整理に當ることになり七日から即時實施した終戰後交通道德の全く無視されてゐる折柄市民から感謝されてゐる

健康相談所と開設
醫療報國目指す富ヶ浦病院

醫療報國を目指し最も完備せる綜合病院の建設を急いでゐた安田善一博士の率ゆる小名濱町富ヶ浦病院ではこの程ほゞ目的を達成、醫師、看護婦、藥劑科の各陣容も全く整つたので戰後の國力回復は先づ國民の健康からと毎週左記日割で復員者を始め姙産婦、乳幼兒並に濱地方は特に眼疾が多いので眼科全般に亘つても、一般の希望に應じて健康相談に應ずることになり、安田院長を部長に〝無料健康相談部〟をも開設することに一日決定、即時開設した、遠慮なく利用されたいとあるが、地方民にとつては大きな福音と期待されてゐる尙各相談は午后一時から四時迄とある

◈復員者(毎週土曜日)擔當安田院長、佐藤忍副院長、師田むめ子女醫
◈姙産婦(毎週木曜日)擔當下田林之助、副院長
◈眼科(毎週火曜日)擔當筒井榮、副院長
◈乳幼兒(毎週土曜日)擔當安田院長、佐藤忍、副院長、師田むめ子女醫

薩摩芋作りに大童
平市の引揚者開墾部落で 名人を指導者に市も囑托

平市内中平窪字古館地内にある元軍用保護馬鍛錬場に歸農した外地引揚者四家族へ今度新しく臺灣から歸つて來た松本誠さん一家族も加はることになつた、この引揚者たちの開墾部落はいま甘藷の栽培中で成績も非常に良く今後の手入に依つては相當の收穫がある見込でこの際素人の指導者が加はれば鬼に金棒の成績を見ることと確實なので市では先にその一家族であつた根本龜子さんの夫が亡くなつた後へ世話をやいてゐる義兄の〝甘藷作りの名人〟根本直衛さん(四五)にお願して引揚部落の栽培指導に當つて貰ふことになつたがこの直衛さんを包んでいま伸びる甘藷に希望を託し細々ながらも引揚者部落も明るくなつて來た

お酒の配給

淸酒五月分は十日から三日間、一戸當り三合宛(四圓五十錢)

木炭の配給

六月分は年割〇十一俵以上の家庭へ九日から三日間一俵宛

米の不正受配檢擧

內郷町宮採炭夫片桐幸一郎(四〇)は九月十五日から五月三十日まで二百五十九日間家族二名のところを三名なりとして飯米五十八キロ二百七十五グラムを更に同町炭礦勞務係原田八百治(五九)は五月一日から一ヶ月間五名家族を六名なりとし九キロの米を不正配給受け平署へ尙仝署ではかゝる不正者は今后一層嚴重にどしどし檢擧するとある

書畫、骨董、衣類 貴金屬 高價買入レ
平市南町平館隣り
中央會館

內科、小兒科、眼科、外科
産科、婦人科、耳鼻咽喉科
皮膚泌尿器科
富ヶ浦病院
院長 安田善一
小名濱町 電話三三番

平市の公葬

平市才槌小路出身松本三郎君の公葬は十三日午後二時から自宅で執行する

兄弟泥御用

平市彌宜町職工小川勳(二三)同今朝男(一八)の兄弟は共謀して四月二十八日夜市內大阪造船平製鋼所に忍込み酸素熔接器三個切斷器二個附屬器具その他二十四点を窃取した外、平鐵工所、吉健鐵工所その他より前後七回に亘つて合計一万五千圓相當分を盗んだこと發覺この程平署へ檢擧された

いわき寸言

▼磐中生が登校時の交通整理に自發的に乘り出す眞に結構なことと斯くてこそ學生の面目も立つし又市民へのよき反省の資ともなる、▼この努力を更らに一歩進めて列車通學の車中の整理までに乘り出してくれたら一層嬉しいといふもの、▼米の不正受配者二名檢擧さる幽靈は文明開化な昨今も依然として出る食糧危機が喧しく叫ばれる今日かゝる不正幽靈はどしどし嚴罰にすべし、▼野菜の辻賣りも良しといふ平署の態度大いによし警察は國民の生活を脅かさゞるものたるの觀念を市民大衆に知らしめよ

婦人部結成
引揚者聯盟內に

海外引揚者磐城聯盟では近く婦人部を結成すべくその第一回懇談會を十一日午後一時より平市公會堂日本間に開催、生活問題を始め一般厚生相談も行ふ

△稅務相談△
會社 設立 增資…變更 合併 計理 記帳 決算
桑原計理事務所
計理士稅務代理士 桑原徹
平市揚土 電一八一五番

危機の突破は粉食で

平製パン羽田武雄氏に聽く

お米の遲配と併行して山野草の採取が强化され今夏の食糧危機は粉食で乘切らねばならぬ狀況下にある、食物の消化の面と未利用資源の活用の面でも家庭では粉食に對し眞劍に研究しなければならない時期である、記者は平パン製造所長であり濱通り方部の指導員である羽田武雄氏に粉食問題に就いて聽いて見た——

先づ甘い先入感除却

粘粉の蓄えも心掛けるべきだ

一般の家庭では粉にさへすれば直ぐパンや團子になると簡單に考へてゐるやうだが粘氣なくては出來ない、この粘粉は雜粉の約四割あれば先づ大丈夫だが殿粉、小麥粉を利用する外ないと思ふ材料さへあれば雜粉でも結構おいしく喰べられると思ふがそれがないから難しい、家庭でも極力この蓄へを心掛けて置いて欲しい、次にパンに對する認識の訂正である、山野草を喰べなければ凌げない程食糧事情が逼迫すればする程强調する必要に迫れるのであるが最近のパンは苦いから喰べ難くいと一般に敬遠され勝ちだ、パンとは甘いものだと云ふ先入感があるからだ、同じくお茶とか野菜のふきとかも苦いが誰も當然と思つて愛用してゐる、パンもこんなものだと思込んで喰べれば何にも文句が出ない、これと同じことは山野草の食用化にも云へるしそこまで徹底しなければとても食糧危機は突破出來ない

一貫作業が最も大切

お役人の頭腦ももつと民主化へ

現在地方事務所で運動中の山野草の採取もお役所仕事で終らぬやうお願ひしたい、今のやり方では草が澤山獲れたから直ぐパンにしろと命ぜられても出來ないのが當然だ、粉食を奬勵しこれを促進するには農業會、粉食協會、食糧營團の三者が一体になつて當らなくては駄目だ、農業會が集荷する、協會の指定工場で粉食化する、食營でパンを燒くと云ふやうに一貫した作業を密接な連絡をとつた上でやつて行けば能率も上る、粉食協會では雜穀粉の五十%だけの粘粉(小麥)を融通して呉れることになつてゐるからこう云つたものはどん〳〵地方のためにも利用したら良いと思ふ、草をとれば良いと收獲ばかりに捉れないで乾燥したもの〻取扱法、その食事法まで指導しなくては地方民が可哀想だと思ふ、そう云つた經驗者はどん〳〵街頭に進出して戴いて食生活の指導に當つて貰ひたいそれにはお役人ももつと民主化しその音頭をとつて貰ひたい

郡内の製造能力は

石城郡内のパン製造所は平、湯本、植田、小名濱の四ヶ所で平製造所では日産一万個(六貫匁入小麥粉四十袋分)の能力があり、現在は三千個のパンを造つてゐる、原料は小麥が六十%で他は碎米、大麥、こうりやん粕等を利用してゐる、その半數は外食券並に加配米用として利用されてゐるが、團体的に寮のやうな處からの申込みもある、それで今夏の雜粉をどの程度製パンして市民に配給するかが問題だ、假に市內三万の消費人口と見て三食のうち一食をこのパン給與に當てるとすれば一日三萬個、二食として六万個が必要である、これだけの人口をお世話する食糧營團はこの計畫をはつきり樹てお膳立しなければならない、平製造所の不足分は市內にある四ヶ所のお菓子屋さんの休止工場を當てだら良いと考てゐる、そしてこの食糧危機に市民擧げて突進するやうな氣構へが必要と思ふ

希望により製造法指導

パンの燒方についても色々指導してあげたいと考てます、この製造所は獨占事業ではないし市民と共に研究して行きたいと思つてゐる、區內會邊りでも實際的な指導を希望するならば工場を開放しても良い、先に農業學校生徒に提供、仕入法、燒方等について指導したこともあるが今後は更に積極的に乘出し必要な原料も區內會へ斡旋してやりたいと考てゐます

書籍 高價ニ買キマス
平市五丁目 片寄書店

委託賣買交換
一時預品金融 湯本ウラ町青柳

自動車業者役員會

縣下の乘合及び貨物自動車業者役員協議會は七日午後一時より平市公會堂日本間で開いた

當番制でDDTを

平驛乘降客に對するDDT撒布は東京以北に制限してゐる關係上、夜中の二時三十八分と三時四十二分の二列車が最も對照となるので市役所では吏員三四名交代當番制で實施することになつた

齊藤洋裁で新入生募集

湯本驛前炭礦案內所二階ドレスメーカー齊藤洋裁研究所では現在でも八十名からの研究生がゐるが今回七月一日から新入生を募集し裁斷科實習科各二ケ月短終了の特点ある教授をすることになつた教師は福島市ドレスメーカー師範部出身の齋藤悦子女史で裁斷と刺繍をには特技示してゐる

四倉町に直賣所を

常磐物産株式會社では平市に事務所を、湯本町に賣店を設け好評を拍してゐるが今度大野、大浦、草野、四ツ倉各町村の便利を計るため農業會と連絡、四ツ倉町本町佐藤唯之助宅を店に借り受け今月中に開店することになつたので關係町村から期待してゐる

開放

投書を歡迎す 要望批判結構 紙上匿名可

祖國再建は同憂相扶で

▼…私は昨日三町目横山さんの葬式に帳場のお手傳ひしてかうした事を見、かう考へた。國民學校の兒童が大部分柩に禮拜して通つた。遠方からの旅行者が可憐にお辭儀をした。若い男女が嬉々と戲れてお辭儀をせずに通るのには、兩頰をなぐつてやりたいやうな義憤を感じた

▼…今立ち上らねばならぬ日本は、先づ高い敎養の上に立たねばならぬ。私が平信用組合の專務理事を追はれた時、八十年の歷史を持つ老舗を壘まぬばならぬ時、ギヤングとして留置所に不法にも拘置された時、手を拍つて喜んだ人が有つた

▼…私は不動産を競賣され、土地より立退を迫まられ、住宅の不安に襲はれ、家財の差押、競賣を執行され、電燈を切るぞと秋山といふ支店長に脅迫された痛ましい數々の經驗を持つてゐる。今磐城民主人民聯盟の委員長となつて、弱い者の味方となり、その生活を法的、精神的に擁護し、且つ勞農、勤勞大衆の味方として立たんとするのもその過去の經驗を生かし、身の上に引きくらべての同憂の氣持からである

▼…同志には借家人同盟理事長の佐藤子之吉君のやうに、裸一貫より數十萬金を擁して目下民衆の爲めの劇場を建築中の純情の士もあり、私も今までは食ふには困らない

▼…無産人民大衆よ、團結の力は强い。そしてそれがやがて祖國再建の榮光となつて輝く時は間近だ。柩に向つての心からなる禮拜は祖國同憂人民相扶の心に一貫する。　三丁目　三森虎雄

生活と文化

萬葉集と七夕

千輝かつみ

(2)

偖てこゝで少し七夕に關する傳說について調べてみやう。

七夕の傳說は日本古來の傳說はないのである。明かに支那輸入の傳說であるが何時代に輸入されたかは全く不明である。万葉卷十に天智天皇白鳳九年の頃の歌といふものが一首ある又人麿集にあるものとして三十六首採つてゐる。集中完全なる詞書にして現はれてゐる年號は元正天皇養老七年七月七日と記されてゐることはやゝ眞を僞かれる。要するにこの傳說は大化改新以後に輸入されたものであると信ぜられる。

この時代に早七夕祭は年中行事となつてゐなかつた。然し一部にあつたかと思ふのは、一條兼良の〃公事根源〃に天平勝寶に乞巧奠が始められたとある。天平勝寶七年は防人等の歌が結集せられた時であつた。淳仁天皇天平寶字三年正月一日因幡國廳舍で大伴家持の酒宴の歌が二十の卷の最終に載つてゐるからこの以前には七夕祭があつたかも知れない。然しあつたにしても夫れが通俗的に行はれてゐなかつた。

牽牛織女は一年に一度天河を渡つて會合する事は支那の淮南子風俗通荊楚歲時記齊階記等にみえてゐる。荊楚歲時記には

天河元東有織女、天帝之子也年々織、勞役織成雲錦天衣。天帝憐其獨處、許嫁河西牽牛郎嫁後遂廢織紝。天帝怒責令歸河東。但其一年一度相會云々。

とある。

斯の如き傳說から影響せられて歌の主要な題材となつた。奈良朝時代には輸入の傳說は民衆に取入れられるやうになつた原因は天漢を天之安河(あめのやすのかは)に附會して織女星を棚織姬に附會したのによる古來日本にはかゝる星の名など和譯がなくて所謂歌人の作つた名であつたと思ふ。牽牛を一名彦星といふのは棚織姬に對しての男稱である。神代には天棚織姬神(あめのたなばたつめのかみ)といふ女神があつた。この女神は高皇産靈神の御子に万幡豐秋津比賣命(よろづはたとよあきつひめのみことも栲幡千々姬命(たくばたちゝひめのみこと)万幡姬命(よろづはたひめのみこと)を天帝の子織女と附會せしめたのである。

この傳說は奈良朝時代の民衆の心境に少なからぬ詩的影響を與へ、そして後万葉集中に顯現したものである。

支那から入つた傳說は憶良、家持乃至人麻呂等多感な詩人の胸の琴線に觸れて幾百年幾千年の過去までも生命あらしめつゝあるのは偶然の事ではない。然もこの傳說は主觀的寓意の傳說であるから當時の彼等は地上に再現しなければならぬといふ努力をした、これは當時の人々の原始的情緒であつた。この情緒は兩性間に生ずる愛情であつた押へ切れぬものであつたのである。萬葉人の心理狀態は斯くの如きものであつたから人麻呂赤人、憶良を始め有名無名の歌人が簇出したのも無理はない。然も奈良時代の人々の愛情は部分的でなく普遍的であり共通的な情緒であつた。だから此等の人々の內心の衝動から放散した情緒は相聞の歌となつた。夫は歌人といふ階級的な表現ではなかつたから無名の歌も多くあつた卷十、十一、十二などの歌は無名歌人の作である又民謠の雜つてゐることも勿論である。

以上の如きであつたので當時の人々の情緒は常に灼熱に閃きつゝあつた、そして輸入せられた傳說と共鳴し得て倚かつこれを地上に再現せしめてゐたのであつたとみられる。

◇開店!!
皆様のカメラの店
長らく御不便をお掛して濟みませんでした
遲ればせながら開店致しました
從來通り御引立下さい
平市三丁目
茂木カメラ店

平硝子製作所
平窯業株式會社
平木工株式會社
佐藤幸太郎商店
佐藤幸太郎
本社 平市田町電四五五
東京事務所 東京都芝區新橋二ノ三八(烏丸ビル)
小名濱出張所 小名濱町定西

セメント瓦
製造注文に應じます
五馬力粉碎混合機あり
古いカタマリゼメント御持下さい交換致します
大浦村上井仁田
(四倉驛ヨリ約七丁)
合名會社 大谷建材店 四倉工場
大谷文夫
御注文ノ際ハ御一報下サイ
係員參上シマス

優秀ミシン
△新品(國産)御注文下さい
△修理は迅速です
遠近出張又は御待來
△各種附屬品取扱へあり
平驛前稅務署隣り
大和屋ミシン店